

## くらしに役立つ環境②

エコカー補助金

環境政策課  
☎224-5866

皆さんは、「エコカー補助金」をご存知ですか？  
エコカー補助金は、購入から13年以上経過した



車を廃車して、環境性能の優れた車に買い替える場合に、受けられる補助金です。環境性能の優れた車とは、燃費が良い・二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出が少ないなど、平成22年度燃費基準を満たす車

のこと。現在販売されている新車のほとんどが、この基準を満たすエコカーになっています。

補助金額は250,000円(軽自動車は125,000円)、

申請期間は9月30日まで(予算枠に達した時点で終了)です。購入から13年に満たない車も対象となる場合がありますので、事前に確認してください。

また、補助金と併用して自動車取得税や重量税などが軽減される「エコカー減税」も適用される場合があります。併用できると更にお得になります。

電気自動車・ハイブリッド自動車など、エコカーの台数は年々増加し、CO<sub>2</sub>排出量は改善傾向にあります。市でも、公用車にエコカーの導入を積極的に行い、その導入率は69.1%(平成21年度末)になっています。

地球温暖化の防止には、原因物質であるCO<sub>2</sub>を減少しなければなりません。その手段の1つとして、皆さんも車を購入する際には、エコカーを検討してみてはいかがでしょうか。

今回出かけたのは

### 「南古谷駅」

まちの魅力や小さな発見を紹介するコーナー。今年度は、駅周辺の散歩道がテーマ。

## 川越再発見

今回出かけたのは、JR東日本川越車両センターが見えます。ここには、点検をしたり、次の出発に備えたりする列車が集まります。始発前には、二十五本くらいの列車が並ぶとか。同車両センターから西を見ると、東部地域ふれあいセンタ

ーの屋根越しに、枝を大きく広げ、緑の葉を茂らせた木を発見。近づくと、それは市内最大、県指定天然記念物のクスノキでした。幹周りが六メートルを超える巨樹は、元気に遊ぶ子供たちの声を聞きながら、見守っているように感じた(表紙写真)。



## 消費生活の豆知識

### その3 趣味につけ込む商法に注意!

生活情報センター ☎226-7066(相談専用) ☎226-7476

#### 事例

「自作の短歌や俳句を雑誌に掲載しないか」という電話があった。無料と思い承諾したところ、高額な掲載料を請求された。

後から請求書を送ってくるケース、実際に掲載されているのかどうか不明なケースもあります。

#### 消費者へのアドバイス

①しつこい勧誘は、勇気を持ってきっぱりと断わる。

②業者の説明をうのみにしないよう、十分に気をつける。

③承諾していないときは、決して支払いをしない。

④短歌・俳句だけでなく、ほかの趣味でも狙われる危険性があるので、注意する。

⑤不安に思ったら、契約や支払いを急がず、家族や生活情報センターに相談する。

「自作の短歌や俳句を雑誌に掲載しないか」という電話があった。無料と思い承諾したところ、高額な掲載料を請求された。自作の短歌・俳句を「すばらしい作品なので、ぜひ掲載したい」と褒め、雑誌や新聞などへの掲載に勧誘する、という手口が急増しています。趣味に対する心理を巧みに利用した悪質なやり方で、特に高齢者が狙われています。

無料のはずだったのに高額請求されて驚き、解約を申し出ると「すでに印刷している

るので解約できない」と言ってくる。消費者が勧誘を断ったのに勝手に掲載し、

消費者が勧誘を断ったのに勝手に掲載し、

このシリーズでは、平成21年度川越市人権教育実践報告会で発表した小中学生の人権作文を紹介いたします。

友だちの声

福原小学校 二年

わたしは、1年生になって、はじめて学校に行くとき、友だちができるか心配いでした。でも、6年生のAちゃんが、「だいじょうぶだよ。きつといっぱいお友だちができるよ」と、やさしい声で言ってくれました。

わたしは、そのことばのおかげで、心ばいがなくなつて、友だちをつくることができました。

だいじょうぶだよ」と言つと、Bちゃんは、「ありがとう」

2年生になると、新しい1年生が学校に入ってきました。わたしは、6年生のAちゃんに言われたのと同じように、1年生のBちゃんに声をかけてあげました。



と言つて、にっこりとわらいました。わたしもにっこりしました。Bちゃんも、わたしみたいに、友だちをいっばいつくつてほしいなと思ひました。

わたしは、友だちに声をかけてもらうと、とてもうれしい気もちになること、友だちに声をかけてあげると、心がすつきりすることがわかりました。

わたしはこれからも、友だちに声をかけてあげたいと思ひます。

品格あるまちを目指して

市長からの手紙



変えます。ここを！ ③「公開事業点検を実施」

昨年11月と本年4月以降、国は「事業仕分け」を行いました。テレビや新聞の報道でご覧になった方も多いと思います。事業仕分けは、自治体の事業見直しの手法として、民間の政策研究機関「構想日本」の提唱により数年前から行われてきたものです。

現政権になって行われた2回の事業仕分けは、国民に分かりやすいとの声もあり、実際に歳出削減効果も期待できるように思われます。また、行政手続きの透明化や説明責任の明確化の効果もあり、市でも今年度、公開で事業の検討を実施します。

県内でも昨年度、富士見市や和光市で構想日本がかかわつて事業仕分けを行っています。本年度は構想日本がかかわる事業仕分けが全国の多くの自治体で実施され、今年中の本市での開催が難しいこともあり、これまでの事例を参考に市独自で、「公開事業点検」として実施します。

公開事業点検は、歳出の削減だけではなく、事業の説明責任を果たすことも大切です。このため、今回の公開事業点検の結果は、できるだけ来年度の事業に生かせるように努めます。また、市民の皆さんには、ぜひ公開の場に参加し、直接、事業の必要性などについて考えるきっかけにさせていただきたいと思ひます。

限られた時間や会場、評価者の関係で、今回8事業程度に限定いたしますが、まず公開の場で市役所の事業を議論していただき、それを市民の皆さんに直接ご覧いただくことが必要であると思ひます。検討対象の事業が①必要か否か②費用対効果は③今後どうすべきか、などについて判断していただく予定です。国の事業仕分けと違い、市の事業は市民生活に直結していて、利害対立が生じやすく、国の事業仕分けの手法がそのまま生かされるか不明な面もありますが、まずは、「公開事業点検」にご注目、ご期待ください。多くの市民の皆さんがご覧になり、市政について関心を持っていただくことを期待しています。

川越市長 川合善明